

平成 22 年度～25 年度

大和市地域福祉計画

～ 育てよう つながりの樹 ～



大和市

はじめに

地域におけるつながりは、さまざまなきっかけから生まれます。しかし昨今は、少子高齢化に加えて、核家族化、共働き世帯の増加、晩婚化、非婚化等による一人暮らしの増加といった家族のあり方の変化や、終身雇用慣行の変化、非正規雇用の増加など雇用環境の変化により、これまで社会を支えてきた、家族の助け合いや企業の支え合いの継続が難しい状況になっています。また、地域の中で、お互いに支え合う、助け合うというような関係が希薄化してきていることも事実であります。

こうした状況にあっても、市制誕生から50年を迎えた大和市の中には、高齢者のサロンや子育てサロンなど、市民の不断の努力によって、地域にしっかりと根付いてきた活動があります。また、地域の課題に対して、必要な事業を創り出してきた市民の力があります。こうした市民の地域活動や市民の力を基礎として、さらに地域の力（共助の力）を強めていくために、新たな地域福祉計画を策定しました。

この計画の考え方にそって地域福祉を推進することで、第8次大和市総合計画の将来都市像である「健康創造都市やまと」を実現していきます。そして、誰もが「ひとりの市民」として尊厳をもって、この土地で「ふだんの暮らしのしあわせ」を感じながら暮らしを営めるよう、市民の皆様と力を合わせて取り組んでいきたいと考えておりますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

最後に、本計画の策定にあたりまして、ご尽力を賜りました地域保健福祉計画策定委員会委員及び社会福祉審議会委員の皆様をはじめ、地域説明会や市民調査などを通じて、貴重なご意見やご提案をいただきました市民の皆様に心からお礼を申し上げます。

平成22年4月

大和市長 大木 哲

～ 地域という つながりの「樹」 ～

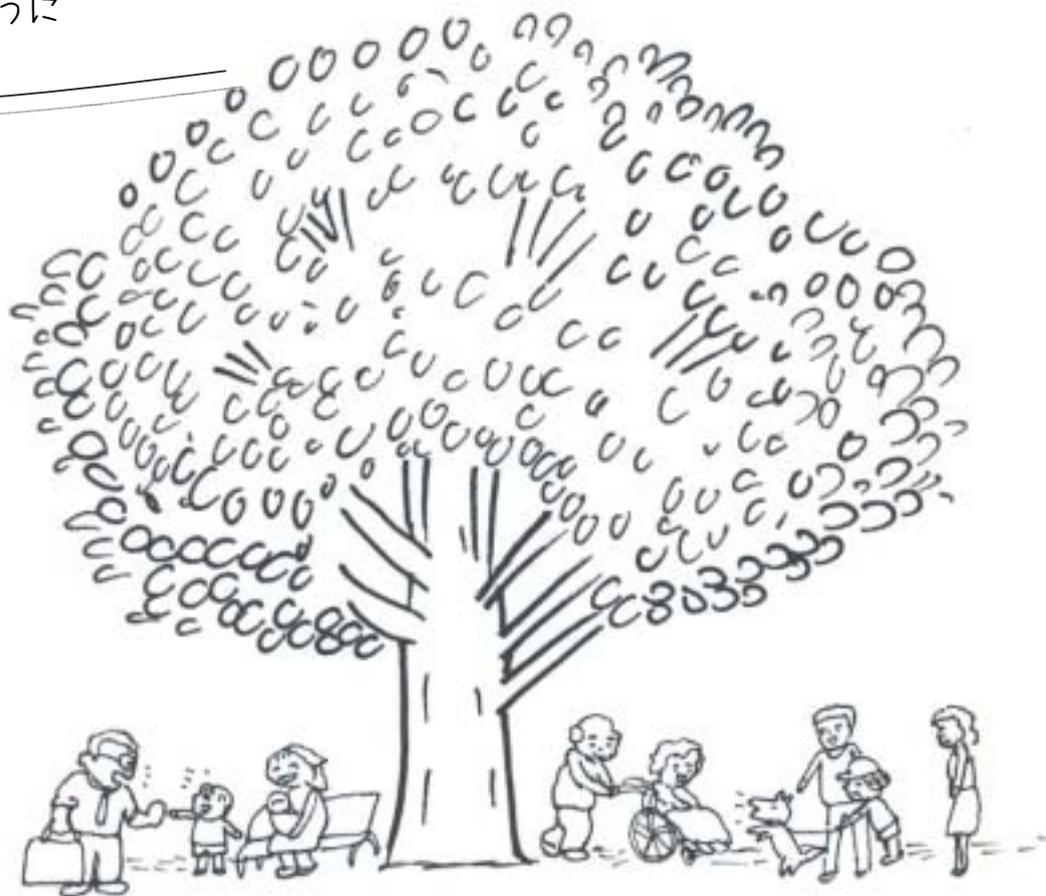
「地域」を想像してみます。「地域」って私たちにとって、どのような存在でしょう。地域、その存在は、大地に根をはる「樹」を想像させます。

この「地域」という「樹」を、「つながりの樹」と名づけ、この「つながりの樹」が地域に根付くことで、地域を豊かにしていきます。

地域の共助をはぐくむための計画である、この地域福祉計画の実現に向けて、地域にたくさんの「つながりの樹」を根付かせていきたいと思えます。

地に根をはる「樹」

「樹」は 大地に根をはり
毎日 毎日 少しずつ成長していく
幹を太くし 枝を伸ばし 緑の葉を広げる
こうして成長した「樹」は
子どもたちの 遊び場となり
葉は木陰をつくり
ひとときの安らぎをもたらす
また その実は 生きる糧となる
私たちが育つように



いつもそこにある「樹」

「樹」の存在は 普段

あまり意識されない

でも 「樹」は確かにそこに存在している

見えないところで

静かに しかし 力強く

根を張っている

私たちを守るように

気持ちを和ませる「樹」

「樹」って 「地域」に似ている

普段 「地域」を

意識して生活している人は

そんなに多くないと思う

それでも 「地域」は 日々

人と人とのつながりを生んでいる

見えないところで 静かに

困った人を そっと助けられるように

私たちを 和ませてくれるように

私たちは、この「樹」を 『つながりの樹』 と名づけたい

『つながりの樹』が 地域の力の象徴 となり

つながりの樹に囲まれた

「みどり(つながり)」豊かな地域にしていきたい

「もうここから離れられないね」という声が聞こえてくるような地域に

■人と「地域」のかかわり

地域福祉を考える際に、皆さんと地域とのかかわりについて、イメージしてみてください。
皆さんは、地域とどのようにかかわっていますか。

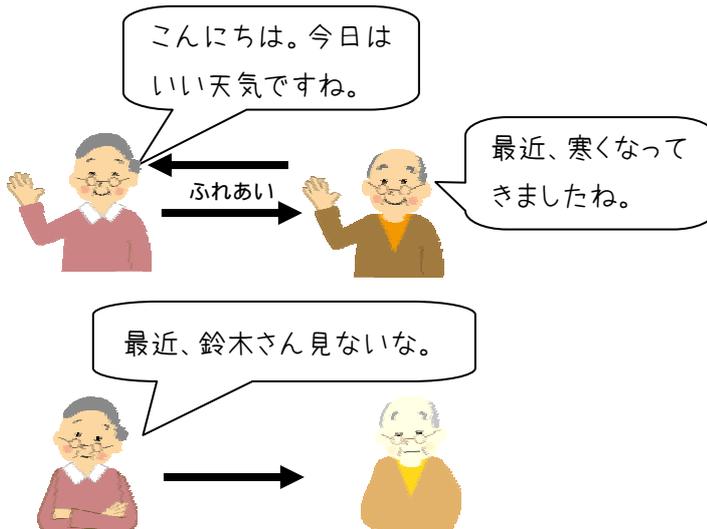
ここでは、周囲に関心のない  齊藤さんと、そのご近所の  鈴木さんを中心に、齊藤さんと「地域」がつながっていくイメージを紹介します。「地域」にはさまざまなかかわり合いがあり、「つながりの樹」がはぐくまれています。みなさんの周りにはどんな「つながりの樹」がはぐくまれていますか。

周囲に関心がない



気づき：この地域で暮らし続けていくためには、ご近所さんと顔の見える関係が重要。緩やかなご近所づきあいをはじめめるためにも、まず地域の活動に参加してみよう。

周囲に関心を持ち始める



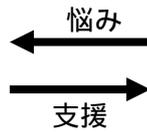
地域で開催されているミニサロンで知り合った二人は、ご近所同士であることがわかり、顔を合わせるとあいさつする関係になりました。

しかし、ある日から急に鈴木さんがサロンに顔をださなくなりました。

変化：齊藤さんは、自治会の公園掃除や、散歩の帰り道、防犯パトロール、回覧板等を通じて、鈴木さんのことを気にするようになる。

ご近所の助け合いが始まる

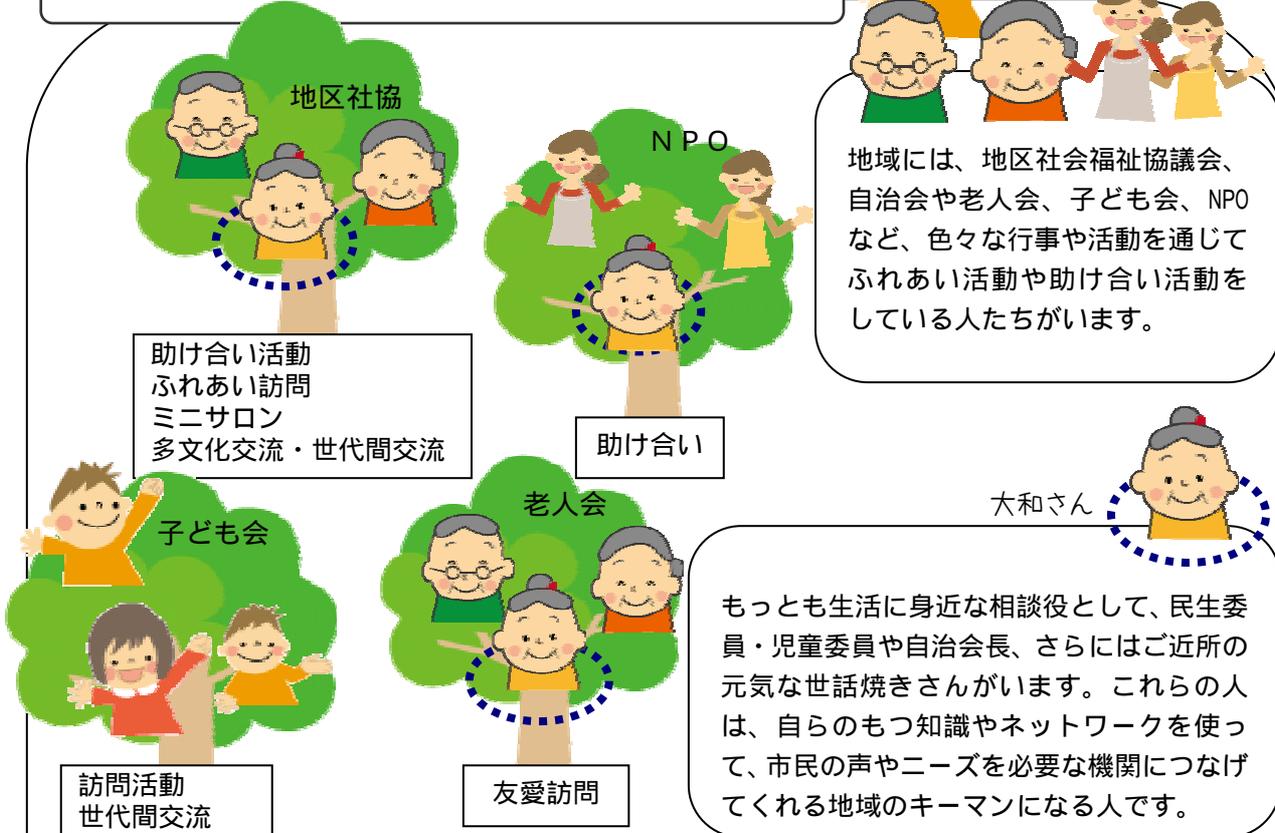
何かできることある？



最近、病気して入院したら、体力がぐっと落ちてしまって、外にでるのも大変だよ。

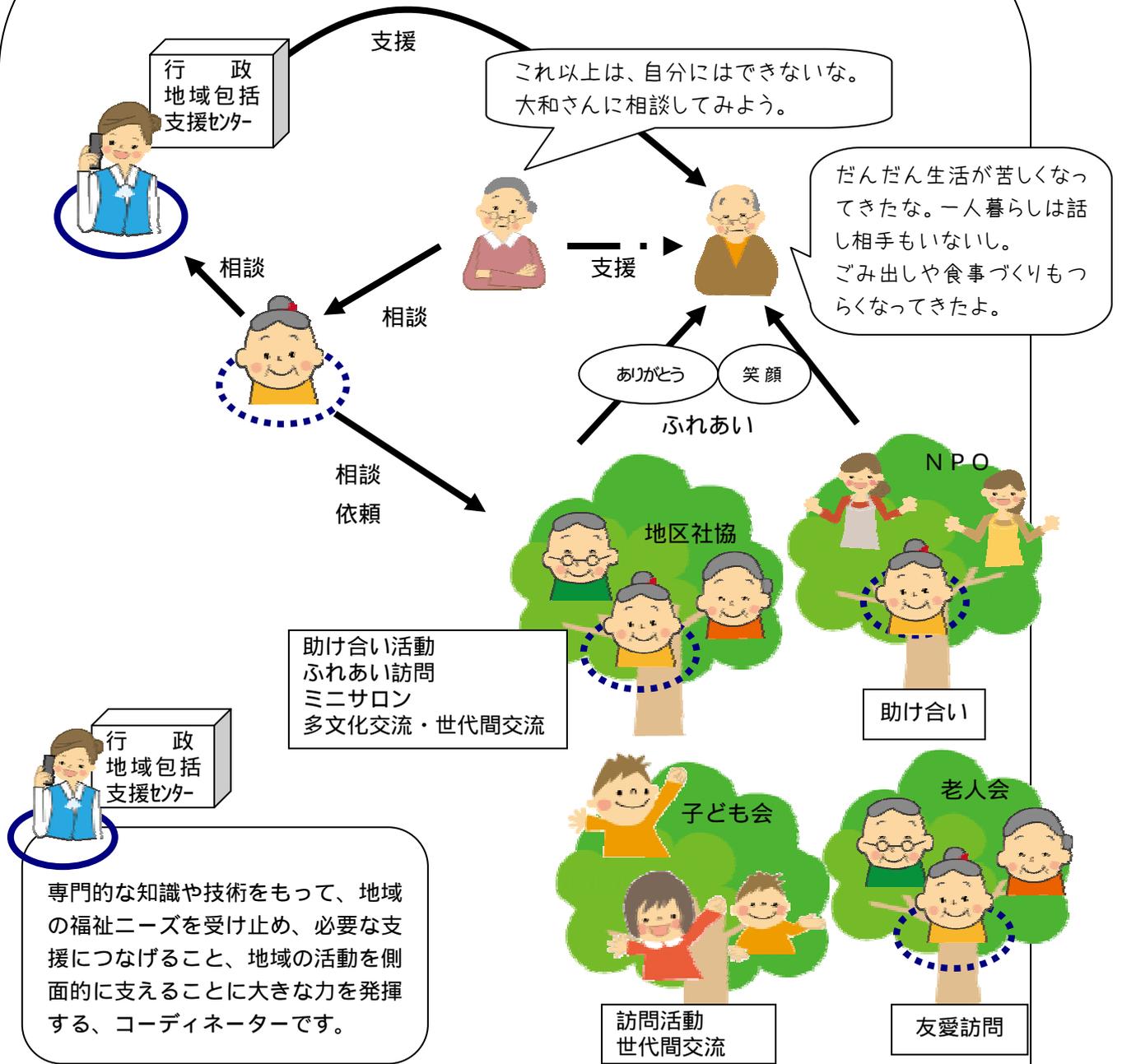
気づき：困りごとを相談し合える関係づくりが大事。鈴木さんが孤立しないようにしないと。自分ができる範囲のことをしよう。

地域には、さまざまな「つながりの樹」が育っている

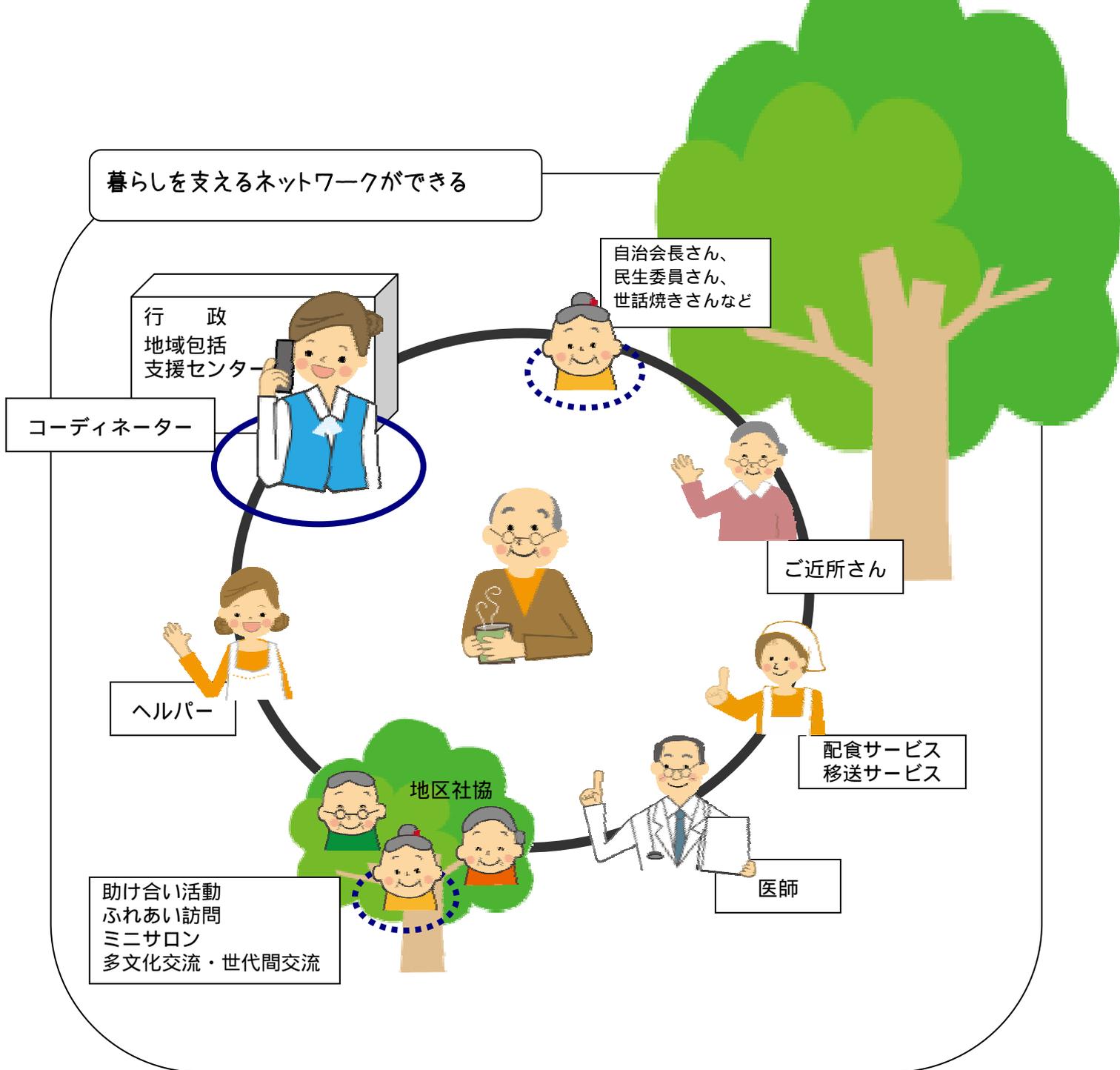


気づき：地域には、たくさんのふれあい活動や助け合い活動がある。鈴木さんに紹介してみよう。

地域のネットワークができる



気づき：自分ひとりで抱え込まず、地域で支援やふれあい活動を行っている団体や機関につないでいくことが大切。地域のネットワークで支えていこう。



この例の中では、鈴木さんは支援を受ける存在として紹介していますが、暮らしの別の場面では、何らかの形で誰かを助ける存在となることが大切です。支援を必要とする人が、「特別な存在」ではなく、その人も地域の中で役割を持って、「対等な存在」として参画し、自己実現を果たしていくために、固定化された、助けられるだけの関係から、互いに助け合うという関係をつくっていくことが、暮らしを豊かにしていくために重要です。

【参考：『市町村地域福祉計画及び都道府県地域福祉支援計画 策定指針の在り方について（一人ひとりの地域住民への訴え）』厚生労働省】

地域に暮らす一人ひとりが、さまざまな場面で地域とつながり、暮らしを支えるネットワークをつくっていくことで、心豊かな暮らしを営むことができます。こうした、地域の中でのつながり（つながりの樹）を生み、はぐくんでいくことが、地域（共助）の力を高めます。この地域福祉計画は、この地域（共助）の力を高めていくための計画です。

目次

I. 地域福祉計画の考え方

- 地域福祉計画の位置づけ.....2
- 今、「地域福祉」が必要なわけ.....5
- 地域福祉の課題.....12

II. 目指す地域福祉の姿と計画の柱

- 目指す地域福祉の姿.....16
- 目指す地域福祉の姿を生み出す3つの柱.....22

III. 取り組みの内容

1. つながりの樹 を育てます.....30
 - [1] 個・家庭の力をはぐくむ
 - [2] 個・家庭⇄ご近所⇄地域の関係をはぐくむ
 - [3] 関係を深めるふれあい・生きがいづくり
 - [4] 相談支援の仕組み・ネットワークをはぐくむ

2. つながりの樹 を育てる 環境 を整えます.....45
 - [1] 地域のコーディネーターの育成
 - [2] 情報提供の充実
 - [3] 健康づくり
 - [4] 地域の拠点・居場所づくり
 - [5] 社会参加しやすい環境づくり
 - [6] 行政組織内の連携強化

3. 新たな つながりの樹の芽 を殖やします.....60
 - [1] 地域活動等の新たな活動展開への支援
 - [2] 新たな地域ニーズに対する取り組みへの支援

IV. 重点的に取り組むテーマ

- 重点的に取り組むテーマ.....64

V. 進行管理

- 計画の進行管理.....68

VI. 参考資料

- 策定の経過.....72
- 「今後の地域保健福祉のあり方に関する市民調査」.....77